

# 静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2012年4月10日

## 「平成24年1～3月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

### －3四半期連続で改善－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成24年1～3月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

#### 1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所 協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成24年3月1～7日

回収状況 回収数 613 社（回収率 96.4%）

#### 2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

##### ①平成24年1～3月の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－19.2となった。平成23年12月の前回調査（－26.1）から6.9ポイント改善し、3四半期連続で改善となった。

##### ②平成24年4～6月期の見通しについて

4～6月期では業況DIは5.4ポイント悪化して－24.6となる。二輪、自動車、機械、卸売、小売、建設が悪化。二輪、自動車、建設で10.0ポイント以上の悪化を見込む。

##### ③主な業種別の動向

業種	業況DI (前期→当期→来期見込み)	動向
二輪部品製造 (56社)	－30.4→ <b>－21.4</b> →－41.1	業況DIは3四半期連続の改善。受注残DIは悪化によりマイナスへと転じる。
自動車部品製造 (69社)	－5.8→ <b>－10.1</b> →－25.0	業況DI改善止まる。今後の受注見通しやタイヤでの洪水の影響等、企業ごとで良し悪しが異なる。
機械部品製造 (66社)	－27.0→ <b>4.5</b> → －1.5	業況DIは大幅改善、平成20年9月から続いたマイナス水準を脱した。
楽器部品製造 (19社)	－73.7→ <b>－36.8</b> →－26.3	業況DI大幅改善、次期も改善見通し。
繊維製造 (25社)	－25.0→ <b>－20.0</b> →－16.0	業況DIは小幅改善。売上額DI、受注残DI、収益DIの主要判断指数は悪化。
卸売業 (89社)	－27.3→ <b>－21.3</b> →－22.5	業況DIは小幅改善。売上額DI、収益DIは悪化によりマイナスへと転じる。
小売業 (69社)	－42.6→ <b>－36.2</b> →－38.2	業況DIは小幅改善。売上額DI、収益DIは悪化。販売価格DIはマイナスに転じ収益を圧迫。
建設業 (70社)	－29.6→ <b>－10.0</b> →－44.3	業況DIは3四半期連続の改善。次期景況予想は大幅悪化見通し。
不動産業 (38社)	－7.7→ <b>－15.8</b> →－15.8	業況DIは悪化。売上額DI、収益DIはマイナスへと転じる。
飲食・宿泊・レジャー等 (15社)	－53.3→ <b>－53.3</b> →－50.0	業況DIは横這いながら売上額DI、収益DIは大幅に悪化。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 間淵・神谷 TEL 053-452-1510